

# 第3編

---

## 基本目標

長野県を取り巻く状況等を踏まえた上で、これからの県づくりに県民と共に取り組むための基本目標を次のとおり掲げます。

## 確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る

### 確かな暮らしを守る

- 短期的には新型コロナウイルス感染症、国際情勢の激変による物価高騰、中長期的には気候変動とそれに伴う災害の激甚化・頻発化、急激な人口減少とそれに伴う担い手不足などの様々な危機が、現在、複合的に押し寄せています。
- こうした危機を克服することで県民の安定した暮らしを確保し、明日への希望を持って日々の生活を送ることができ、万一の場合には温かな支援を受けられるという安心がある「確かな暮らし」を守っていきます。
- 県としては、次のような社会の実現に責任を持って取り組みます。
  - ・ 現下の物価高騰を克服し、コロナ禍等で停滞した社会経済活動が再生・活性化している。
  - ・ 省エネルギーや再生可能エネルギーの普及が進み、脱炭素社会に近づいている。
  - ・ ハード・ソフトの両面から災害への備えが強化されている。
  - ・ 出生数の減少傾向に歯止めがかかり、移住者やつながり人口\*が増加している。
  - ・ 地域社会に不可欠な医療・福祉、農林業、交通・建設業等の担い手が確保されている。
  - ・ 水道・排水処理施設や道路などの公共インフラが安定的に維持・運営されている。
  - ・ 公共交通等の移動サービスが充実し、高齢者、高校生、観光客等の移動の足が確保されている。

### ゆたかな社会を創る

- 社会の成熟やグローバル化、デジタル化の進展などにより、人々のライフスタイルや価値観が多様化し、物質的な豊かさだけでなく、生活の質やゆとりなど精神的な豊かさを重視する傾向が高まっています。
- こうした中、経済的な繁栄を享受するとともに、環境と共生し、多様性が尊重され健康で文化的な人間らしい生活が営まれる社会、すなわち一人ひとりの県民がしあわせ（ウェルビーイング、Well-being）を実感できる「ゆたかな社会」を目指していきます。
- また、ゆたかな社会を築く礎として、暮らしを支える「社会的共通資本」を多様な関係者と共に維持・発展させていきます。

○県としては、次のような社会の実現に責任を持って取り組みます。

- ・産業の生産性向上・働き方改革により、県民の所得が向上し、多様な働き方が実現している。
- ・デジタル技術の活用により、公共サービスや事業活動の利便性や効率性が向上している。
- ・結婚・子育て支援、教育等が充実し、子ども・若者や女性の幸福追求が最大限保障されている。
- ・性別、障がい、所得等による差別・格差の解消が進み、誰にでも居場所と出番がある。
- ・高校改革、高等教育・リカレント\*教育の振興等により、学びの県づくりが進んでいる。
- ・医療機関の機能分担と連携が進むなど、医療・介護サービスが質・量ともに充実している。
- ・健康に生活できる期間が長くなり、多くの高齢者が現役で活躍している。
- ・観光地域づくりやまちの緑化などが進み、快適でうるおいのある空間が増加している。
- ・農山村や過疎地域等が人をひきつけ、人間的な暮らしの最先端地域になっている。
- ・文化・芸術やスポーツに身近で親しむことができ、暮らしにうるおいをもたらしている。

○これらの考えは、「誰一人取り残さない」という誓いの下、経済・社会・環境の統合的向上を図ることにより持続可能な世界の実現を目指すSDGs\*(持続可能な開発目標)にも呼応するものです。

#### ウェルビーイング (Well-being)

○身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念。

○ウェルビーイング (Well-being) は多面的・持続的に幸せな状態であり、感情的・瞬間的に幸せな状態であるハピネス (Happiness) とは区別される。

○経済学者・神野直彦氏によると、人間の欲求が「所有 (having) 欲求」から「存在 (being) 欲求」へと変化する中で、「人と自然」の共生による快適な自然環境と、「人と人」による幸福な社会環境の両面が充足され、良き存在 (Well-being) として快適・幸福な状態にあることを言う。

#### 社会的共通資本

○経済学者・故宇沢弘文氏が提唱した概念で「一つの国ないしは、特定の地域に住むすべての人々がゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置」を意味する。

○自然資本 (森林、水大気、土壌等)、社会的インフラストラクチャー (道路、上下水道、公共交通等)、制度資本 (教育、医療等) から成り、社会全体にとって共通の財産として、専門家集団の高い倫理観と知識のもと、社会的な基準にしたがって管理・運営される。

